

テーマ:人口増加のために必要な施策

結婚促進

- 少子化対策、結婚するための環境づくり
- 独自の性教育

雇用の創出

- 雇用の促進 観光、農業、商工業
- 半農半Xの生活スタイルを目指し、「農」、「X」を提供する
- 農業の企業化をはかり雇用の拡大を図る
- ポイント制度を活用した地産池消のまちづくりをして人口の流出を防ぐ
- 地域資源を生かした起業の支援による雇用の拡大を図る。
- 町のブランドづくり(日本一)これに従事すれば食べていける、生活できる
- シェアオフィスの整備

子育て支援

- 子育て世代に家賃補助
- 子供がたくさん生める環境づくり
- (新規・既存)シングルマザーも住みやすい町(シェアハウス等、子育て支援)
- 子育て支援強化で人口流入を図る

子どもが自然と触れる

- 子供が自然に遊べる場所づくり
- 子供たちの自然体験の場の整備 “森のようちえん”
- グリーンツーリズムで都会から農業体験と空き家情報提供

交流人口の増加

- 中通り、浜通りからの保養プログラム誘致
- 近場の交流人口を増やす 安・近・短 モデルコース
- 美里の知名度をUPさせる。(会津地域以外にも興味をもってもらおう)

多世代交流

- 高齢者と子供と一緒に暮らせる場所づくり

助け合い

- 一人暮らしの年配者を若者の労働力で助け合う町 ボランティアがさかんな町(新規・既存者)
- 知り合いが多くて互いに頼れる町(コミュニティーの充実)
- コンパクトシティを目指し1人1人が幸せを感じる町をつくる

健康寿命を延ばす

- 元気な高齢者をつくり健康寿命をのばして人口を維持する

テーマ:実現のための課題とアクション

結婚促進

【課題】

- 男性の所得が全体に低い
- コミュニティーの場が少ない(青年会・婦人会の消滅、おせっかいの人が減少した)
- 美里町に住みたくない(魅力不足)
- 親と同居したくない、会津若松に流出
- 出会いの場が少ない

⇒【アクション】

- 強い男性をつくる
- 子供を生める環境づくり、子育て支援、医療費、保育体制の充実
- 結婚したら税金無料へ

交流人口の増加

【課題】

- 情報発信不足
- 目玉の特産がない(現地で味わいたいものがない)
- ウォーキングは成功

⇒【アクション】

- 1000本桜を整備して名所にする
- 国宝のアピール
- 非日常的なものが味わえる(美里町にすれば)

雇用創出

【アクション】

- 本郷焼がお弟子さんをとる
- 雇用は会津一円となって考える、会津はひとつ
- 町がおもしろい仕事を提供する(高級じゃなくてもやりがい)
- 起業支援 小さくても商売をスタートできる

テーマ：観光に活かしたい資源 & 町外の人が町で観光したいもの

おいしい食べ物

- なんとと言っても「米どころ」米粉製品でおもてなし
- おいしく調理ができる、薪で炊くごはん
- Food Ingredients (食材) (※)
- 米とソバのおいしい食べ方をPR。ライスフードフェスティバルなど (※)

自然

- 白鳥が飛来して冬を過ごす
- 宮川の千本桜 (観光に活かしたい資源)
⇒【課題】
●維持する人がいないため、桜が減っている。
- 蓋沼森林公園 (観光に活かしたい資源)
- 家族で夏休みに滞在できる場所。楽しいキャンプ場やおいしい物を提供して思い切りたき火がしたい (※)
- 本当に暗い(きれいな空で) 場所で天体観測 (※)
- 鎮守の森 (※) (町外の人が町で観光したいもの)
- 伊佐須美の森 (観光に活かしたい資源)

通年観光

- Use of natural attributes all year (四季折々を楽しむ) (※)
- 雪 (※)

歴史・天海

- 人としての天海 (観光に活かしたい資源)
- 天海の資料館を街の中につくり、街に観光客に来てもらう(高田地区)

下野街道

- Scenic Route (観光ルート) (※)
- イザベラバードの通ったルートの整備。明治初期の自然に対する感性を取り戻したい (※)
- イザベラバードの歩いた道

かやぶき

- Straw-Roof Village looks Different than pictures (※)
- No real place to take pictures (※)
- Plastic crates , Plastic sheets (※)
(茅葺き屋根がトタン等で覆われており、写真を撮りたいスポットがないのが残念)
- 蔵や茅葺き民家がある町並み (※)

集落風景

- Architecture “sense of place” (地域性のある建築) (※)
- Impression of deserted villages (現状では観光への意欲が感じられない) (※)
- 関山集落エリアが再整備されたら泊ってみたい。“農家の良いところ取り”の過ごし方 (※)
- “日本の里” 田んぼと山に囲まれた風景 (※)

イベント

- ライトアップ：法用寺三重の塔、新鶴、本郷の各観光の場所
⇒【課題】
●継続しない。
●地理的に、外から人を呼びにくい。
- 二本柳公園での大バザール、いも煮会(農業、商工会一体となって)、大沼高の演劇の発表、歌謡大会
⇒【課題】
●バザールは各地でやっている。売り物に特徴が必要 (※)
●コミュニティが閉鎖的で、出店者がいつも同じである。
- ウォーキングイベントは一過性だった。下郷町は効果あり。

注：(※)はゲストメンバーによる意見

テーマ：観光に向けた取り組み

街並みといっしょにPR

- 観光客は意外と本通りではなく側道を見て散策する方が多いので散策しやすい道路整備が必要ではないか。
- (本郷地区の場合)瀬戸の街は、最初からPRするより、街並みを整備することが大事ではないか。
- 若い人に来てもらう。瀬戸物のデザインなどもアイデアを提供してもらう
- 芸術家の街として観光客に来てもらう(空店舗利用)
- 大正、昭和時代のなつかしい街なのでもっとPRすべき
- 地方は地方らしく創る

産業づくり

- 「観光<産業」特産物を産業につなげることで、観光に発展する。
《特産物》
●発酵食品で健康を売る
●天然酵母いっぱいある
●未利用の山
●梅・柿・焼き物
●気持ちよく寝られる梅の種のまくら 静か
- 特産品のブランディング化
- ワイナリーの建設 シャルドネの産地

マスタープランが必要

- Need for tourism master plan (※)
- ビジョンがない

人を呼び込む仕組みづくり

- 観光用ポイントサービス「いいね！」の通貨化
- 大学との農業体験プログラム (※)

その他

- 会津観光の目的となるような場所に。
- 天海の大河ドラマの働きかけ

テーマ: 町として今後すべき事

環境

- 農林業を通して自然環境の保全
- 地域ぐるみで農地を守るしくみをつくる
- 地域おこし協力隊で森林再生

担い手

- 担い手の確保、育成
- 退職者の就農
- 若者に機械の操作指導を
- 都市部から農業体験者を呼び寄せる
- 農業できなくなった場合、委託先の確保
- 空家利活用で参入者受入

観光

- グリーンツーリズムと連帯した農地保全を
- 世界一の安心安全産品PR

エネルギー

- 水路や樹木を使ったエネルギー活用を
- 減反利用した太陽光発電
- 農業用水の落差利用の小水力発電
- 再生エネルギーの開発

六次産業

- 加工施設を増やす
- 地元ワインを売り出すワイナリーの建設
- ITを活用した安定生産と販路拡大を
- 農家レストラン
- コンパクトシティ作りで里山開発
- 生産法人、集落営農法人の育成
- 農業を産業として育成する

教育

- 体験できる農地の提供
- 里山学習を通し人との交流
- 学校給食を通し食育・地産地消の教育

耕作放棄地

- 耕作放棄地を減らす

地産地消

- 地産地消推進で健康づくり

特産品

- 特産品の発掘

その他

- 基幹産業の米の価格安定を
- 行政・JA・生産者の連携を

テーマ: 実現のためのアクションプラン

担い手対策

- 行政、JAがリーダーシップを持ってやる
- 課題を共有して全職種を巻き込んだワークショップを
- 退職者を中心とした新規就農者を確保する
- 若手(少人数)、退職者(多人数)の確保
- 観光行政との連携
- 若年層を引きつける魅力ある農業

エネルギー

- バイオマス・小水力発電を進める
- 温水熱の再利用

その他

- 消費者にアピール(無農薬など)

テーマ:町として今後すべき事

健康づくり→医療費の削減

- 町営、温水プール設置(体力づくり)
- 健康づくり アドバイザー助言
- ラジオ体操の見直し 幼→老 共に
- 健康・文化センターの建築
- 見晴らしの良い場所にジム(アスレチック)をつくる。医療費の削減を図る
- 運動教室の充実
- 資金不足

地域のネットワーク

- ボランティアを束ねる事務局の設置
- 孤独死の早期発見→アイネットの普及→協力者不足
- 老人クラブの助成、育成
- 緊急時の連絡を迅速にする。各家に緊急無線を設置
- 自主防災組織の普及推進

社会参加

- 引きこもりの社会活動への参加、啓蒙活動と業団での話し合い

若い人の参加

- 役場職員の20~30才代の意見を聞く

その他

- 授産施設(町営)の導入

テーマ: 公的支援に望むこと

助成金への要望

- ランドセルは高価なので、購入に際し補助金があるとよい。
- 出産や子育ての助成金システムが充実しているとよい。

移動手段を確保したい

- 交通の便が悪く、子育てサロンまで出てくるのも大変。
- 山沿いの地区に町のバス等、交通手段（できれば無料）がほしい。
- あいあいタクシーを充実させてほしい。

ワクワク・ドキドキ豊かな遊び場をつくる

- 放課後の遊び場がほしい。
- 皆が集まれる公園の整備をしてほしい。
- 他地域にはない、美里ならではの遊びビジョン、たとえば「自然の中でのびのび遊ぶ」等のビジョンを持つ。
- 美里の大自然を壮大に活用した遊び場を作り、他からも人が来る、個性的なものにする。
- たとえばトトロの森のような自然の遊び場や、田んぼで草野球など、昔の遊びができる場づくり等

テーマ: 定住支援について

若者の定住を促す

- 子育て世代が定住できるような援助が必要。
- 出会いの場、機会が少ない。

その他

医療への不安

- まちで開業している小児科医がいない。

テーマ: 人的援助を強化するために望むこと

交流できる場づくりが必要

- 子育て世代が少なく、母たちの相談場所がない。
- そもそも少子化で、地域そのもののコミュニティが希薄になっているので、地域交流の場を作る。

子育て世帯を地域で支援する

- 現役世帯をサポートするしくみづくりが必要。
- 地域で子育てする環境を整備する。
- 困ったときはお互い様ー地域で助け合う子育てが必要。
- お年寄り世代と親世代と子ども世代がつながるようなしくみづくり。
- 女性が働きやすい町にする。
- 子ども用品のリサイクルバザーを定着させる。

ボランティア活動による子育て支援を充実させる

- 子育て相談が気軽にできる場所をつくる。
- ホーム・スタートを定着させ、たくさん産んで楽しく育てられるようにし、若者の定着、過疎化を防止。

相互援助活動を充実させる

- ファミリーサポートセンターを定着させる。
- ひろば事業・一時保育を拡充させる。

テーマ: 課題・要望に対するアクションプラン

ワクワク・ドキドキ豊かな遊び場づくりを通して、定住促進にもつなげよう

- 地域の大人および日本中から希望者を募り、みなで魅力的な遊び場を作る。
- 他の地域の人たちと連携して作業することで、美里の魅力を発信し、他地域からの移住定住につなげる。
- 美里の魅力、たとえば安心・新鮮な食の提供・畑付き土地を安く提供する等をアピール。
- 豊かな人間づくりができるまちとなる。

若者の定住を促すために

- 農林業開発で働く場をつくる。
- まちの豊富な資源を活かして、米づくり職人や木の職人を育てる。

ボランティア活動による子育て支援を充実させる

- ホーム・スタートの定着化に向けた助成金を充実させる。
- ホーム・スタートを町民の方々に周知する。

テーマ：町として今後すべき事

おらほのまち環境チェーン

- 環境の本意について再考察する
- 人間中心の視点を捨て、未来を考える町づくり
- シンクグローバル、アクトローカル
- 自産自消
- 自然エネルギーを地域資源の活用でまちづくり
- 地域集落に配慮したコンパクトシティづくり
- デマンド交通システムの充実
- 身の丈（財政含む）の確認と人口減少、高齢化を見据えるまちづくり
- 小集落単位のスマートシティ（※）
- 小規模、自立、分散型の熱電供給システム（※）
- カーボンオフセット（※）
- エネルギー管理 システムの「見守り」 システムの活用（※）
- 農業・林業 バイオマス 資源の燃料化（※）
- 燃料間伐（※）
- 里山づくり（※）

自然災害対策

- 土砂災害対策
- 美里町は地域が広いので安心安全とは？
- 災害予防意識の啓発
- 地域コミュニティに着目した防災訓練
- 防災について町の防災計画は？

※環境サプライチェーン

テーマ：課題

- 認識・意識が希薄

テーマ：アクションプラン

おらほのまち環境チェーン

- ★主体：NPO
- 自然保護・環境団体への支援、協働
- NPOと行政 二者で国の補助金活用する!!（※）
- 自然について学習する場作り
- 自然度調査
- 農林業との共働（協働）による環境保全
- ★主体：町民
- 町民との徹底したコミュニケーション構築
- 「2050年」を想像した土地利用
- 町と住民代表で協議会作成。省エネ導入で町内に環境とお金が残る循環（※）

★主体：行政

- 町の自然エネルギーのポテンシャル調査
- 国・県の補助金調査：公開（※）
- 実現可能なビジョンづくり
- 例：行政が省エネ熱利用施設を多拠点化する（※）
- 浄化センターの下水熱を地域暖房に活用する（※）
- 温泉熱と地中熱を介護施設で導入する（※）
- 行政施設を地域エネルギーセンターとして活用する「地域熱電事業」を行う（※）
- 町が温泉熱を活用した「温泉スマートシティ」地域暖房導入（※）
- 温浴施設に地中熱を導入しエネルギーコストCO2を削減する

自然災害対策

- ★主体：町民
- 町の防災マップで地域での話し合い
- ★主体：行政
- 地域主体の予防活動（組織化、行政は仕掛け）
- 災害時の交通の方法などの話し合い
- DIG図上訓練で地域事情、実状の共有（全域）